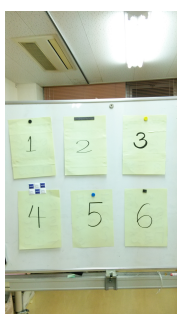


# 記憶力にアプローチ

利用者さんが普段通っている施設の中の設備や物があるところ（場所）をどれくらい覚えているかの確認になるのと、生活に密着したお題を交えることにより、生活リハビリにも繋がっていく。施設の中全体を使うことにより、移動距離も出てくるので、運動機能にもアプローチできる。スタッフがついて歩くので安全に行える。



**ジャンル** 運動機能改善 介護予防 イベントレク

**身体面への効果** 指定されていません

**精神面への効果** 指定されていません

**介護度** 要介護度4 **所要時間** 5、6人で20分くらい

**性別** 男性  女性  どちらも好評です **人数** 1人～

**道具** (一人当たり予算0円)

A4くらいの紙  
マジック  
イベントのゲームで使う場合は、景品を準備することもあります

**注意点・追加ルール** 基本的には、寝たきり以外の方は参加できる内容だと思います。移動距離やお題の内容を、その日の利用者をよく見て考える必要があります。歩行訓練も兼ねています。必ずスタッフが同行しましょう。

---

## 期待効果

脳のいろいろな部分にアプローチするので、認知症の予防に繋がる。

施設の中をしっかりと知ってもらい、より安全で快適に過ごしていただくための改善点も見つかる可能性あり。

当センターでは、歩行訓練のついでに、非常口の在処を必ず確認するようにしています。

---

1

紙に番号と、裏に取ってきて貰うものや、してきてもらいたいことを書きます。（参加人数分でよい。）

じゃんけんや、クジや年齢順等でやる順番を決めます。この時点ですこし盛り上がります

順番を決めたら、番号を書いた紙（あらかじめホワイトボードに張り付ける等しておいてください。）の中から、好きな番号を選んでもらい、セーの で裏返し、お題登場～。

2

お題を見てもらい、ヨーイドン!!。

一番の人が行って帰るまで、残りの人にも一番の人のお題の在処などを訪ねて、脳トレ。

一番の人が帰ってきて、お題と合致しているかをみんなで確かめて終了。

以後、参加人数分行う。

イベントで使う場合は、時間を測っておき、一番早かった人が優勝 などの使い方もあり。